

医療法人南労会 紀和病院季刊誌

ウェルビー

ご自由に
お持ちください



私らしく「今」を生きる



第 63 号 2025 年度 夏

医療法人南労会 紀和病院

〒648-0085 和歌山県橋本市岸上 18-1 TEL.0736-33-5000
E-mail: info@nanroukai.or.jp URL: http://www.nanroukai.or.jp

内科クラークさん



栄養サポートチーム



KIWA Doctor's Story No.12

こんにちは。私の生まれは滋賀県大津市、約 8 年前 (2016/10月) に当院に常勤医として入職しました。一時数週間の病気での休みをいただいたこともありましたが、スタッフの皆さんに助けられて、今に至ります。中学から大学までバドミントン部に属していて、高校生の時にはインターハイに出場しました。今は見る影もありませんが。

現在は総合内科部長である土生先生、紀和クリニック副所長の堀口先生と共に「総合内科医」として働かせていただいています。表紙の写真は私の主な職場である「2 階療養病棟」(医療療養型病床) のスタッフの皆さんです。この病棟では特に人生の終末期を迎えられた患者様を担当しています。患者さんの「病の経過 (軌跡)」をイメージしながら、「今」ふさわしい医療を本人やご家族と「共に相談 (SDM: 共同意思決定)」しています。これには「ACP: 人生会議」も含まれます。看取りや退院支援も医療相談員さんと共にしています。この病棟では NST チーム (栄養サポートチーム) も定期的に行っています (写真)。

紀和クリニック内科外来には週に二回 (水曜日、木曜日) 勤務しています (写真: 内科クラークさんと)。

総合内科

吉田 康弘 (よしだ やすひろ)

滋賀医科大学 (平成 6 年卒)

【資格】

医学博士

日本医師会認定産業医



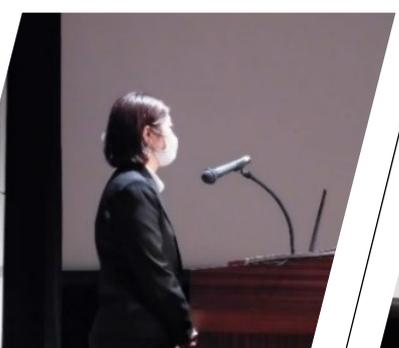
仕事のストレスは、体を動かしたり (卓球クラブの写真①)、B 級グルメを家族と楽しんだり (写真②)、時にお出かけして (関西万博での 2050 年の私③) バランスをとっています。一番の趣味は音楽鑑賞で、**Vaundy**、**SEKAI NO OWARI**、**Mrs.GREEN APPLE**、**AI** などが好きです。「怪獣の花歌」「踊り子」「しわあわせ」「裸の勇者」「走れ Sakamoto」, 「サザンカ」「銀河街の悪夢」「Rain」「RPG」, 「Soranyi」「ケセラセラ」「青と夏」「ダーリン」, 「みんながみんな英雄」「アルデバラン」「ハピネス」が特に好きな歌です。

こんな私ですが、よろしくお願い申し上げます。

第21回学術研究発表会



医療法人南労会では、年に一度、法人関連の全事業所が集まり、医師・看護師・理学療法士、作業療法士をはじめとする事務職を含む各職種のスタッフが日々の臨床における実践や研究結果について発表する学術研究発表会を開催しております。日々の業務と並行して、この発表のために1年を通して準備をしてきました。法人内向けの限られた発表会にはなりますが、データ収集や患者さんへのアンケート調査など、真摯に取り組んだ成果を発表しました。



新人看護師応援シリーズ vol.1

頑張れ!!

ルーキーズ

「CTCは驚きの連続！」

ROOKIES

新人看護師臨床研修センター:CTCの特徴のひとつ！
研修部署が変わる「ローテーション制度」。6月には初めての部署変更がありました。
慢性期病棟から急性期病棟にきた松井Nsは驚いたそうです。

「前の病棟と違うことがたくさんあります。手術があったり処置の種類が多かったり。時間の進み方も早く感じます」

部署の違いだけでなく、できる仕事の種類も増えていきます。6月からは実際に患者さんを受け持つ機会が増えます。

「今の自分の課題ですか？…点滴の準備、アセスメント、申し送り…全部です！」

難しいことは現場の先輩看護師に教えてもらい、同期と昼休みなどにCTCルームで話をしたり、専門・認定看護師からアドバイスをもらったりしてクリアしているとのこと。

「部署が変わると驚きの連続です。でも自分がしたい仕事を探せるのがとても助かります！」

「驚きの連続」を通して成長していくルーキーたちの姿にこれからも注目してください！



一期生
松井 夕華 Ns



橋本市内の小学校に がん教育



©橋本市



今年度も「がん教育」がスタートしました！

副院長 梅村定司医師による橋本市立全ての小学校14校で5月21日から「がん教育～生命（いのち）の授業～」が始まりました！

子供たちが積極的に「がん」について考え、学ぶ姿勢、そして命と健康について真剣に向き合う姿から、これからのがん教育の重要性を強く感じました。



紀和病院 医療チーム紹介 No.8

認知症せん妄サポートチーム

令和7年4月1日から認知症・せん妄サポートチーム（通称DST）の活動を開始しております。

DSTは認知症やせん妄で困っておられる患者様の安全を守りながら安心・安楽な状態で過ごせるようにサポートさせていただくチームです。入院中は慣れない環境や治療、体の病気の影響により脳にもストレスがかかり、意識の混乱などが出現することがあります。医師、看護師、社会福祉士、薬剤師、セラピスト、栄養士の多職種が適切に対応し、予防や早期改善に努めさせていただきます。チーム一丸となって頑張っています。



中学生の職場体験！

橋本中央中学校の職場体験を

受け入れました。

医師・看護師・薬剤師・リハビリ等

様々な職種を体験！

今後の進路選択の参考にしてもらえると

嬉しいです。



川邊医師が「ACP を踏まえた看取りケアについて」 講演会で登壇しました

地域のケアマネジャーや、訪問看護師、施設の方などを対象に 50 名以上の方が参加されました。

人生最期を病院で迎えると言う方も少なくない時代となりましたが介護保険制度や在宅医療の発展もあり、自宅での看取りも増えています。

川邊医師には訪問診療で医療者が自宅での生活をどうサポートできるかなど幅広く話されていました。医療だけではなく、患者・家族の思いに寄り添うケアの大切さを改めて感じました。



病院のご意見箱（皆様のご意見をお聞かせください）

紀和病院・紀和クリニックでは、より良い医療の提供とともに、院内環境の向上に努めております。患者さま中心の医療を提供するため、皆様からお寄せいただいたご意見からも改善に取り組んでまいりますので、お気づきの点などございましたら院内備え付けの投書箱「きくまる」へご投函ください。ご意見に対する回答は、ホームページならびに投書いただいた投書箱付近へも掲示します。

○投書箱（きくまる）について

4カ所に投書箱を設置しておりますので、ご意見・ご要望等をお寄せください。

【設置場所】

- ・紀和病院 受付
- ・西館 2 階デイルーム
- ・西館 3 階デイルーム
- ・紀和クリニック

次のような場合には回答できませんのでご了承ください。

- ・抽象的なご意見や病院に直接かわからないもの
- ・記載された内容に誤りがあるもの
- ・公序良俗に反するものや特定の個人、団体を誹謗中傷するもの
- ・営利営業を目的としていると思われるもの
- ・宗教的性格を有するもの
- ・そのほか法人として回答することが適当でないと判断した場合

